



**KIN-BALL<sup>SPORT</sup>**  
**ASIAN CUP & OPEN**  
**KOREA 2023**

**キンボールスポーツ アジアカップ&アジアオープン 2023**  
**大会レポート**



アジアカップの優勝カップ2つとアジアオープンの優勝カップ



女子決勝戦

■大会名

キンボールスポーツ アジアカップ 2023

■大会期間

2023年11月4日(土)、5日(日)

※ウェルカムパーティー11月3日(金)

※フェアウェルパーティー11月5日(日)

■場所

韓国・烏山(オサン)市

■部門

2部門

女子部門、男子部門

■参加国と地域

日本、韓国、中国、香港、マカオ、台湾  
6つの国と地域

■結果

●女子部門

優勝 日本 JAPAN ※3大会連続3回目

準優勝 韓国 KOREA

第3位 香港 HONG KONG CHINA

●男子部門

優勝 日本 JAPAN ※3大会連続3回目

準優勝 香港 HONG KONG CHINA

第3位 韓国 KOREA

■大会名  
キンボールスポーツ アジアオープン 2023

■大会期間  
2023年11月4日(土)、5日(日)  
※ウェルカムパーティー11月3日(金)  
※フェアウエルパーティー11月5日(日)

■場所  
韓国・烏山(オサン)市

■部門  
1部門  
プロ・ミックス部門(コート上に女子2名、男子2名)  
※国際ルールでは、この部門は交互にヒット

韓国・烏山(オサン)は韓国の仁川国際空港から車で70～90分程かかる距離に位置しています。首都ソウルからは約1時間。人口23万人の中規模な都市です。

第3回アジア大会にあたる今大会、日本は高見彰団長(一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟会長)をはじめ、石川剛史男子チームヘッドコーチ、柴井健太女子チームヘッドコーチ、関川慎也男子チームアシスタントコーチ、高木聡トレーナー、男子選手12名、女子選手12名、その他役員・事務局として、酒井英登常務理事、清水学理事、田中幸生専務理事付補佐、上山洋史事務局長が参加しました。

アジアカップは、男子、女子ともに6つの国と地域からの参加がありました。また、国際キンボールスポーツ連盟(本部/カナダ)管轄のレフリーはベルギー、韓国、そして日本から4名(古賀充レフリー、宇江城卓レフリー、石田幸恵レフリー、玉野裕弥レフリー)が参加しています。

今回、日本は2023年2月に代表候補選手を選出し、以降、概ね月1回のペースで合宿・強化練習を行いました。そして2023年6月に男女12名ずつの代表選手を選出し、以降同じく概ね月1回のペースで合宿・強化練習を行い、今大会に臨みました。

今大会は11月3日(金)に宿泊先であるHotel Prumirでウェルカムパーティーが開催されました。また、11月5日(日)大会終了後のフェアウエルパーティーも同ホテルでの開催でした。ウェルカムパーティーはノンアルコール対応で、翌日の大会に備えることとなりました。

大会期間中は温かいお弁当が昼、夜用意されました。思っていたほど辛くないのが印象的でした。

大会期間中、韓国は11月にも関わらず、全く寒くなく、冬の上着は必要のないレベルでした。日本も同じく、この時期は季節外れの温かさであったので、当たり前ながら、気候もお隣の国同士つながっていると感じました。

■参加チーム  
10チーム参加。日本より3チームが参加。

■結果  
優勝 IBU(日本)  
準優勝 JAPAN Sea Bream(日本)  
第3位 C' mon(日本)

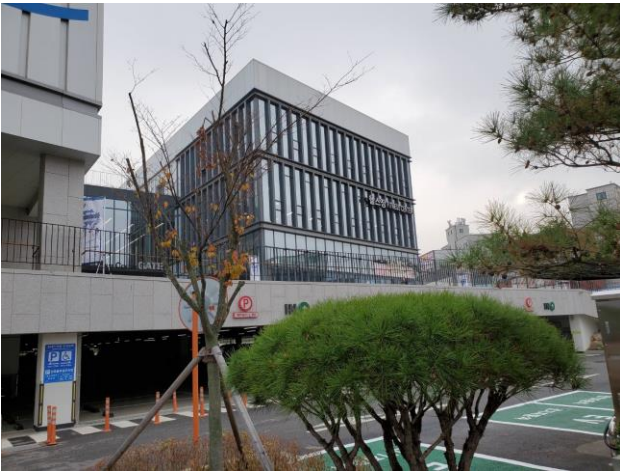
※アジアカップと同時開催



今回は現地で集合。11月3日結団式。ホテル前に



ホテル内にて、大会参加受付。韓国スタッフのみなさん。



体育館外観



体育館入口



体育館内の受付前、特大デジタル看板



大会プログラム



開会式 主催者・来賓サイド



開会式 チームサイド



コートはメインアリーナ 2コート。サブ1コート。



担当レフリー(通称イエローチーム)

アジアカップの試合は得点制で、予選は3試合。予選・準決勝は1ピリオド11点先取制の3ピリオド先取方式。6チーム中、予選1位と2位がダイレクトで決勝へ。予選3位～5位が決勝進出をかけた準決勝。決勝は予選1位、2位、準決勝勝者が戦う形です。決勝は現在の公式ルールである、1ピリオド11点先取制の4ピリオド先取方式で行いました。時間の関係等で、予選は国家斉唱がありませんでした。

日本女子チーム ※左からチームカラー ブル（ブルー）／ギリ（グレー）／ノア（ブラック）

- ・予選① 日本／韓国／中国 3／0／0 日本ストレート勝ち
- ・予選② マカオ／日本／香港 0／3／1 日本勝利
- ・予選③ 台湾／香港／日本 0／0／3 日本ストレート勝ち 予選1位 ダイレクトで決勝へ

日本男子チーム

- ・予選① マカオ／台湾／日本 0／0／3 日本ストレート勝ち
- ・予選② 日本／韓国／香港 3／0／1 日本勝利
- ・予選③ 中国／日本／台湾 0／3／0 日本ストレート勝ち 予選1位 ダイレクトで決勝へ

アジアオープンの試合も得点制で、予選は3試合。予選は1ピリオド11点先取制の2ピリオド先取方式。10チーム中、上位9チームが準決勝へ。準決勝3試合の勝者が決勝進出。準決勝・決勝は1ピリオド11点先取制の3ピリオド先取方式で行いました。日本の3チームは見事に準決勝を勝ちきり、決勝は日本勢同士3チームでの戦いとなりました。アジアオープンは、IBU（国際武道大学）が優勝を決めました。

アジアカップの女子は韓国、マカオ、中国での準決勝。開催国・韓国が準決勝を制し、決勝に。

- ・決勝

日本／韓国／香港 4／0／0

ストレート勝ちで日本が3大会連続3回目の優勝。その後の2位決定戦を韓国が制し、準優勝。

男子も中国、マカオ、韓国での準決勝。同じく開催国・韓国が準決勝を制し、決勝に。

- ・決勝

日本／韓国／香港 4／0／1

1ピリオドは失いましたが、日本が3大会連続3回目の優勝。ピリオドを取得していた香港が準優勝。

すべての決勝戦終了後、表彰・閉会式が行われました。表彰・閉会式にて、第11回ワールドカップが2024年韓国で開催されることが発表されました。現在のところ、2024年10月28日（月）の週または11月4日（月）の週で調整が進んでいます。決定次第、日本キンボールスポーツ連盟ホームページ、フェイスブックで発表します。

今大会の特徴、ポイントをいくつか紹介します。

- ・大会の運営スタッフはとても若い。以前に代表選手であった人が韓国キンボールスポーツ連盟のスタッフとなって裏方の仕事に携わっていることが印象的でした。
- ・動画配信に関しては、当日になるまで、日本で視聴できるのか半信半疑でした。視聴できたことは幸いでした。次年度のワールドカップでのレベルアップが期待されます。
- ・チーム結果に関しては、香港の躍進が目覚ましい。若い指導者の熱意を感じました。

アジア各国の要望として、日本からの指導者派遣、各国での国際的な講習会開催、プレーヤーの交流などがあげられています。すべての国が日本の指導を受けたいとのこと。コロナ禍で止まっていた交流を再度進めていけるよう、まずは連絡を密にしていきます。定期的なオンラインでのアジアキンボールスポーツ連盟会議を実施していきます。

アジアキンボールスポーツ連盟は、2026年開催予定の次回アジアカップ（現在は3年に1回のサイクル）開催地の調整に入りました。こちらも決定次第、日本キンボールスポーツ連盟ホームページ、フェイスブックで発表します。



決勝戦直前。日本チーム定番チャント(応援歌)にて心をひとつに。



決勝後は3チーム、笑顔で集合！



国歌斉唱



男子決勝戦



表彰式にて



高見彰団長と男女子チーム



2024 年秋、韓国にて第 11 回キンボールスポーツ ワールドカップ開催!

## 【記 録】

- ・大会公式フェイスブックページ（写真中心です）

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100094557585798>

- ・大会配信動画 記録

11 月 4 日 予選

<https://vod.afreecatv.com/player/109148356> （開始より 49 秒後あたりから正確に映ります）

<https://vod.afreecatv.com/player/109996984>

11 月 5 日 決勝ほか

<https://vod.afreecatv.com/player/109182764>





●キンボールスポーツ アジアオープン 2023 オフィシャルスポンサー 協賛企業一覧 (順不同)

- ・ あなぶきグループ 様
- ・ 株式会社 LTC パートナーズ 様
- ・ 株式会社森覚貫誠堂 様
- ・ 株式会社サンラッキー 様
- ・ 株式会社デライツ 様
- ・ 若神楼 様

●継続寄付クラウドファンディング(日本代表応援)・寄付者一覧 (順不同)

「応援団」、応援コメントを紹介いたします。

- ・ **榎原 哲志さん(広島県)**  
応援します！
- ・ **高木 由人さん(東京都)**  
「目標、世界制覇！」
- ・ **辻 貴雄さん(東京都)**  
キンボールスポーツを知らない人には知ってほしい！  
極めるのなら日本代表へ！
- ・ **毛部川 和枝さん(埼玉県)**  
キンボールスポーツをメジャースポーツに！  
たくさんの人に知ってもらいたい、たくさんの人に楽しんでもらいたい、日本代表には世界一になってもらいたい！！です！！

- **高見 彰さん（兵庫県）**  
明日のキンボールスポーツのために！！！！
- **森 隆治さん（香川県）**  
頑張ってください！
- **本田 禎忠さん（兵庫県）**  
頑張ってください！  
普及支援考えます。
- **石岡 聖也さん（宮城県）**  
キンボールスポーツの普及、日本代表の世界大会優勝目指してがんばってください！
- **鈴木 真由美さん（石川県）**  
頑張ってください！応援しています。
- **小椋 亘さん（香川県）**  
日本全国にキンボールスポーツの楽しさを普及してください。  
日本代表選手のみなさんも頑張ってください！
- **清水 学さん（東京都）**  
頑張ってください！  
日本代表チームの活躍を期待します。  
キンボールスポーツの普及発展を応援しています。
- **鈴木 ゆみ江さん（東京都）**  
キンボールの和と輪がもっともっと広がります様に…
- **みっちゃんさん（山形県）**  
応援してます！頑張ってください！
- **まえださん（東京都）**  
頑張ってください！
- **しらいちゃんさん（東京都）**  
頑張ってください！応援してます。来年のワールドカップで優勝目指せ！
- **上山 洋史さん（大阪府）**  
事務局の上山です。個人として普及推進活動、日本代表活動ともに応援しています！
- **香川県キンボールスポーツ連盟さま（香川県）**  
普及推進と日本代表に半分づつ使って下さい！
- **高野 薫さん（徳島県）**  
個人として継続寄付クラウドファンディングの代わりに寄付させていただきます。  
普及推進と日本代表男子、日本代表女子に均等にってください。
- **松井 外喜子さん（大阪府）**  
個人として継続寄付クラウドファンディングの代わりに寄付させていただきます。  
普及推進活動と日本代表チームのサポートにってください。
- **アナザーレーン株式会社さま（東京都）～企業募金紹介コメント～**  
当連盟の活動に深いご理解を示していただき、運営のご支援として毎年ご寄付を賜っております。そのご厚意に深く感謝の意を表し、2023年3月に感謝状を贈呈いたしました。  
事務所に募金箱を設置いただき、寄付を募っていただいております。本年度も多額のご寄付を賜りました。

みなさま、応援支援誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

コロナ禍から立ち上がる大切な状況にあるからこそ、キンボールスポーツの持つチカラを信じ、全国のみなさまと目標を共有し、手を取り合い、協働していくことが必要だと痛感しています。この逆境を乗り越え、その先の明るい未来を皆さんと創造していきたいと考えております。今後とも応援支援のほど、よろしくお願い申し上げます。